

# 教育行政執行方針（要旨）

## 未来を拓く人材の育成 ～地域と連携した 特色ある教育～

現在、我が国では、生産年齢人口の減少や急速な技術革新、グローバル化の進展などにより、社会構造や雇用環境、価値観などの変化が私たちの予測を超えて一層加速していく時代を迎えています。こうした中、国は昨年、第3期教育振興基本計画を策定し、十数年先の社会の変化を見据えた教育政策に関する基本的な方針や、今後5年間の教育政策の目指すべき方向性を示しました。

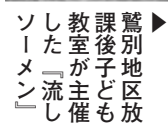
教育委員会としましては、この計画を参酌しながら、本市教育の新たな指針となる登別市教育振興基本計画が、『登別の教育推進に関する検討会議』との協議を経て平成31年3月に策定となります。

で、今後はこの計画に沿って、登別市の教育目標である『豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成』の実現を目指し、各種施策を総合的、計画的に推進していきます。

これまで、本市においては、コミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業を導入し、地域の教育力を活用した学校づくりを進めてきました。こうした学校支援の取り組みを通して、学校・家庭・地域の連携はさまざまな形で展開され、地域づくりにも大きな成果をあげていますので、今後はさらにコ・ディネット機能の拡充などを図り、地域と学校が連携、



▲学校支援地域本部実働している  
が中心となつて  
中学校区で行  
「田植え」



▶ 登別地区放課後子ども教室が主催した『流しソーメン』



協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動に発展するように努めていきます。

### 学校教育

幼児・小・中連携については、引き続き相互参観や合同研修などを通してそれぞれの教育活動への理解を深めるとともに、子ども一人ひとりが安心して学校生活を始めることができるよう、小学校からのスタートカリキュラムの作成に取り組んでいきます。

また、小中一貫教育については、登別市小中一貫教育基本方針をふまえ、系統的、継続的な指導が推進されるよう促していきます。



▲幼稚園や小学校などの教職員が集まり、情報交流や課題解決を目指して協議を行う「幼保小中連携協議会」

キャリア教育においては、市内の小中学校が登別青嶺高等学校や登別明日中等教育学校との連携を図り、社会的、職業的自立に向けて必要な能力や態度が育成されるよう支援していきます。

学力の向上については、全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学などに課題がみられますので、引き続き教育課程課題検討委員会を中心に、学習指導の工夫・改善を図っていきます。

また、プログラミング教育では、登別市情報教育推進協議会や日本工学院北海道

道専門学校と連携し、各学校における具体的な取り組みが進められるよう、支援していきます。

### 英語教育

英語教育については、引き続き登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、外国語指導助手の活用を図り、コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進に努めていきます。

また、小学校4年生全員に英検ジュニアを実施するとともに、英検3級を受験する中学校生徒に対し検定料の半額を補助し、児童・生徒の英語学習に対する意欲を支えていきます。



▲日本工学院北海道専門学校「プログラミング」



▲平成30年度に、登別市に着任した外国語指導助手